

平成21年9月1日

=地域と保護者の皆様へ=

横浜市立富士見中学校
校長 下川 秀樹

平成21年度 9月号 富士見中 学校だより
『小さな富士見に 大きな誇り』



長かった夏休みも終わり、28日（金）から学校が始まりました。今年の夏は、いつもの夏らしくなかった？、これもお盆までの暑さがなく、雨が多かったからでしょうか。その後は、例年の残暑に見舞われ、そのまま夏の後半といった感じでした。

なんと言っても今年は、8月の15日（土）から始まった世界陸上選手権大会に釘付けになった方が多かったのではないのでしょうか。中でも男子100M走のジャマイカの選手ウサイン・ボルトには、感動された方も多かったのではないのでしょうか。夢の9秒58。日本新記録が10秒00ですから超人的な記録です。200M決勝にしても19秒19。100Mの記録が全く落ちないでそのままゴールしたのと同じです。これには驚きました。他にも女子走り高跳びクロアチアのブランカブラシッチの2M04などテレビの画面に釘付けになったのは私だけでしょうか。

また、一方では夏の甲子園大会、選手達の一生懸命なプレーに声援を送られた方も多かったのではないのでしょうか。

今日は、9月1日です。今日から本格的に学校が始動します。数日後には定期テストがあり前期の後半の締めくくりを迎えます。子ども達の頑張りに「やれば出来る」という励ましと見守りをよろしくお願い致します。

さて、次の写真は8月の29日（土）に行われた、恒例の地域交流会の時の様子です。生徒と保護者・地域・教職員とがチームを組んで別れ、大綱引き大会を行いました。いい汗を沢山かきましたので紹介します。



地区懇談会について

・・・7月4日（土）午前中に公開授業を行い、午後地区懇談会を行いました。地域の方、南吉田小学校・石川小学校の職員と保護者、関係機関、本校保護者の皆さんの参加のもと、多くの皆さんにご参加頂き、今年度は次のような「ねらい」で実施しました。

- ① 地域の方々と地区生徒との顔合わせ（自己紹介）
- ② 夏休み中の地区行事への取り組み（内容と参加体制）
- ③ 地域の危険ポイントの確認

前半は体育館で全体会、後半に各町内会毎に教室に分かれ話し合いを行い新たな取り組みでしたが、参加された方々からは好評であり今後も続けたいという声がありました。

全体会の様子（体育館にて）



分科会（各町内毎）に分かれての様子です。



部活動紹介・・・ソフトテニス部

7月の市大会の団体戦を最後として、今年度は3人の3年生がソフトテニス部を引退しました。3年生が引退した後、1・2年生計17名で今夏17日の練習を行いました。

1年生は、中学生として初めての夏。4月から約3ヶ月間、ソフトテニス部として日々の練習をこなしていたとはいえ、夏休みの練習に入る前は常にラケットにボールをうまく当てて打ち返すということもまだまだ難しく、それに加えて炎天下での練習についていけるだけの体力があるかなども、とても心配でした。しかし、ほとんどの生徒が日々の練習を休むことなく、自分自身に、そして他の部員に負けまいとする姿が少しずつ見られてきたように思います。1年生全体としてみれば、ソフトテニスの基本的な技術やルールに関して、1年生として部活動の中でどのような動きをすべきかなども、この約1ヶ月半で集中して学べたのではないかと思います。

2年生は4人と少ないですが、新たなキャプテンも決まり、今まで以上に自分の技術向上プラス彼女達の思い描いている“ソフトテニス部”の基盤を作り上げようと試行錯誤しながらの夏の練習だったように思います。まだまだ、自分たちの持っている力に満足することなく上を目指して欲しいと思っています。

新チームとして始動したばかりなので、この夏の練習が技術的にも、また部としても、どう今後に活かされるのか、これから始まるシーズンの結果をもって見られるといいです。

ソフトテニス部顧問 平井 洋美